



年休取得促進のための計画助勤

地方独立行政法人 東京都立病院機構
東京都立多摩北部医療センター

施設概要

1

地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩北部医療センター

患者中心の良質であたたかい医療



所在地	東京都東村山市
病床数	337床
職員数	442名
看護職員数	365名
主たる入院基本料	急性期一般基本料1

※2022年4月1日現在

1 働き方改革という流れ

○都立病院は毎年20日間年次有給休暇が付与される

しかし…
年次有給休暇の取得日数は低い

「年5日の年次有給休暇の確実な取得」の義務化
※2019年4月施行

多摩北部医療センターは達成していたものの、
看護職員の平均取得日数は11日と少なかった。

2 部署間の年次有給休暇平均取得日数の格差

○部署により平均で7~15日の格差

▶看護師の経験年数や働き方の多様化、診療科の特徴などが影響

▶ **不公平感**や**労働意欲**の低下を招く可能性

看護職員が「働き続けることができる職場」を整備する



- 1 看護部全体の年次有給休暇取得を平均17日以上に
- 2 部署間の年次有給休暇取得格差の是正
- 3 看護師間の連携の強化

取り組み内容 上記の目標達成のため、以下の取り組みを実施

- ・ アニバーサリー休暇の導入 (2019年3月)
- ・ 「計画助勤」体制の導入 (2021年9月)

1 | アニバーサリー休暇の導入

○アニバーサリー休暇

アニバーサリー休暇の休み希望は**他の職員の通常の休み希望より優先される**
 ▶アニバーサリー休暇に対する付加価値を示すことで「5日間は自分の意思で取得する」という職員の年次有給休暇取得に対する意識改革を目指す

○アニバーサリー休暇導入による変化

2020年度 | 目標の年次有給休暇平均取得日数15日を達成
 ▶職員からは「休みをとりやすい」と好評で、年初から取得が進むなど、看護管理者・職員の意識変化が見られた
 ▶2021年度 | 目標を**17日(年間付与日数20日の85%)**に引き上げた

しかし
 年次有給休暇取得日数は改善されたが、**参加率は54.1~66.1%**
 「アニバーサリー(記念日)ではないから」と希望せず、制度の意図が伝わらない

▶**部署による平均取得日数の差は埋まらず：9.1日**

2020年 看護部 年次有給休暇取得推進キャンペーン “アニバーサリー休暇”の取得

2020年看護部では、働き方改革と併せて「休み方改革」を進めていくことにより、「アニバーサリー休暇取得」キャンペーンを行います。

厚生労働省の定例による「働き方改革」は、「働く方々が、毎日の仕事に際した多様な働き方を、自分で選択できるようにする」ことを目的として、年次有給休暇の取得促進を図ることを目指しています。働き方改革の推進の一環として、看護部が働き方改革の推進を図ることを目指しています。

★アニバーサリー休暇とは★

働き方改革の一環として、働き方改革の推進により、記念日や誕生日など、年次有給休暇取得促進の一環として導入されています。必ずしも記念日や誕生日でなくてもよい。

アニバーサリー休暇 希望のルール

- アニバーサリー休暇は年間5日とし、連休ではなく月に4日とする
- 希望日を各自でアニバーサリー休暇希望表(下段表)に記載する
- アニバーサリー休暇日と併せて連休を希望する場合は、月間希望表に記載するなど、各部署内のルールに従う
- 前日に休み希望があるなど、勤務者数の確保が困難な場合は、アニバーサリー休暇を優先して調整する
- アニバーサリー休暇日が休務や委員会などと重なった際は、調整や委員会を優先とし、別の希望日に振り替える

アニバーサリー休暇希望表

氏名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												

2 | 計画助勤の導入

○導入の目的

年次有給休暇取得日数の部署によるばらつきを**均てん化する**
 ▶職員を計画的に日単位で他部署に勤務(助勤)できるようにする

計画助勤を受けた部署では、**助勤当日の日勤帯勤務者数を補充できる**
 ▶その日の有給休暇取得を職員に勧めることで、年次有給休暇の取得が進むと見込んだ

○計画助勤の実績【2021年度】

派遣部署

派遣部署

派遣部署

派遣部署

派遣部署

派遣部署

派遣部署

派遣部署

➔

受入部署

受入部署

受入部署

受入部署

受入部署

延べ68回実施

受入部署 4 部署

- ▶40名のペア看護師と延べ63回業務を実施
- ▶22名のリーダー看護師が延べ52回リーダー業務を実施

・計画助勤者は、受入部署のメンバーとペアを組んで活動するため、受入部署は他部署の人とペアを組める要員を選出した

・受入部署のリーダーは、ペア看護師と一緒に計画助勤者をフォローした

計画助勤者

8部署から**40名**派遣

2 | 計画助勤の導入

○導入と実施の流れ



STEP 1 グループ編成

○12部署を4つにグループ化

- ・12部署を派遣部署（8部署）と受入部署（4部署）に分け、派遣部署3部署と受入部署1部署でグループを編成した
- ・各グループは診療科特性などから助勤しやすい部署を組合せ、基本的にグループ内で相互に助勤を実施

STEP 2 計画助勤希望・可能表の作成

○計画助勤希望・可能表の作成

- ・受入部署は助勤を希望する日を入力
- ・派遣部署は計画助勤者として助勤が可能な日を入力
- ・派遣部署の助勤可能日には人数、助勤予定者名も入力

▼計画助勤希望・可能表

R3年度 計画助勤希望・可能表 締切り 月 日まで

赤字:希望日 黒字:可能日	月																																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
10U	予定																																
	実績																																
3課	予定																																
	実績																																
3課	予定																																
	実績																																
6課	予定																																
	実績																																
6課	予定																																
	実績																																
6課	予定																																
	実績																																
4課	予定																																
	実績																																
文庫	予定																																
	実績																																
手術室	予定																																
	実績																																
0課	予定																																
	実績																																
外科	予定																																
	実績																																
4課	予定																																
	実績																																

2 | 計画助勤の導入

STEP 3 計画助勤者に基準を設定

○計画助勤者は以下の基準のいずれかを満たす者とする

- ・受入部署に関連する診療科の経験がある（当院、他院問わず）
- ・過去に受入部署の勤務経験がある
- ・受入部署に関連する診療科の経験は無いが看護師長が適任であると判断した場合

※手術看護のような専門的な知識技術を必要とする業務は、経験者からの選定

STEP 4 計画助勤希望・可能表を基に看護師長が計画助勤スケジュールを作成

グループごとに各部署の看護師長とWLB推進委員会（2019年～）のメンバーが毎月の勤務希望表を持ち寄り、入力済「計画助勤希望・可能表」を基に日程調整し計画助勤のスケジュールを決定
 グループ内調整が難しい時は他グループと交渉し、計画助勤者を確保
 看護師長は計画助勤のスケジュールを踏まえて、各部署の勤務計画を決定する

年次有給休暇取得の原則：本人の希望

- ①勤務希望・有給希望提出
 - ②看護師長が勤務希望を取りまとめて持ち寄り、計画助勤日と計画助勤者を決定
 - ③作成中の勤務表に計画助勤者を追加し、確保した人員分の有給を計画する
- ※有給取得は、このタイミングで本人へ知らされる仕組みとなっている

年次有給休暇取得の新設原則：時期指定義務 ※2019年4月以降

有給休暇取得が進んでいない職員に対してはWLBメンバーがその部署の看護師長へ有給確保の助言をした

2 | 計画助勤の導入

STEP 5 受入部署の計画助勤者受け入れ環境づくり

- 計画助勤者は、受入部署でその部署の中堅看護師とペアで業務を行う
 - ▶助勤者が慣れない他部署で円滑に業務にあたるように配慮
 - ▶受入部署は適切な人材をペアになるよう選定
- 計画助勤者受け入れは**部署間連携強化の機会**
 - ・計画助勤者の経験値が活かせる患者を担当するよう調整
 - ・受入部署の診療料や業務について学習できるよう必要な情報を提供
 - ・受入部署のスタッフとの打合わせを設定
 - ・感謝の気持ちを伝える

STEP 6 年次有給休暇取得促進のための提案

各部署が1～7月の年次有給休暇取得促進に向け取り組んだ内容とその結果・要因について調査し、取得が進んでいる部署の取り組みをWLBメンバーが分析してのち、後半に向けた戦略を全体に提案したポスターを設置し、看護師と患者の双方に意識改革を呼びかけた

職員向けポスター▶
「ちゃんと休む」を強調



患者向けポスター▶
「しっかり働く」を強調



成果・効果

1 | 年次有給休暇取得状況の改善

平均**15.8**日(2020年度) ▶ 平均**17.6**日(2021年度)

取得日数最小値だった受入部署も

平均**10.9**日(2020年度) ▶ 平均**13.6**日(2021年度)

Q. 協力したことで年次有給休暇取得が促進できたと感じたか

回答数103人中「とても思う」「まあまあ思う」の割合

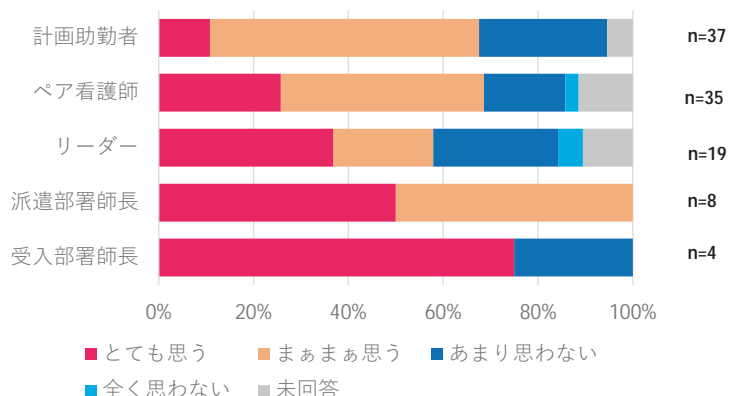
平均**73.7%**の肯定回答



年次有給休暇取得日数が増えた



助勤者が慣れている人だったので受け入れた部署での業務がスムーズだった



2 | 看護師の身体的・精神的負担の軽減

Q. 計画助勤者の受入れ・派遣を通じてどのような事を感じたか（最も回答が多かった項目）

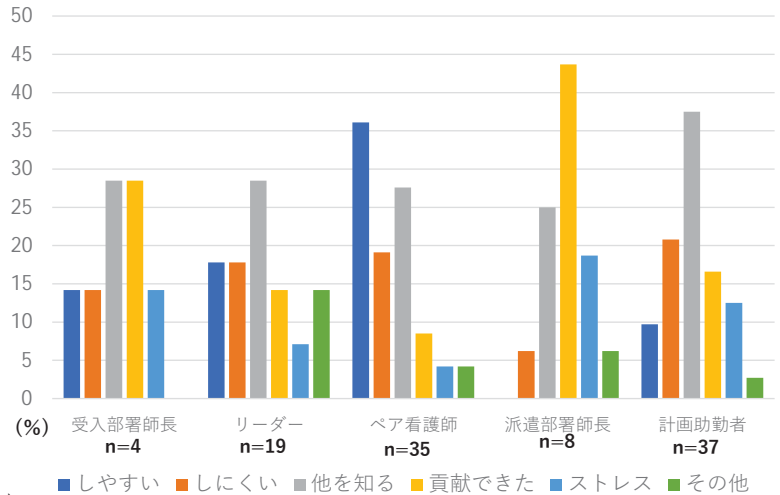
受入部署師長 「他病棟を知ることができた」
 「貢献できた」
 受入部署リーダー 「他病棟を知ることができた」
 受入部署ペア 「仕事がしやすかった」
 派遣部署師長 「貢献できた」
 計画助勤者 「他病棟を知ることができた」

▶ 肯定回答が全対象において最も多い

○理由として

「勤務経験者であったため安心」（受入部署師長）

「他病棟を知る事で自分にプラスになる」（計画助勤者）



3 | チーム連携向上

○看護範囲の拡大

コロナ患者の増減により、専用病棟の数に変化

+

コロナ専用病棟は固定していないため、概ね半年を目処に別の病棟へ替わる体制

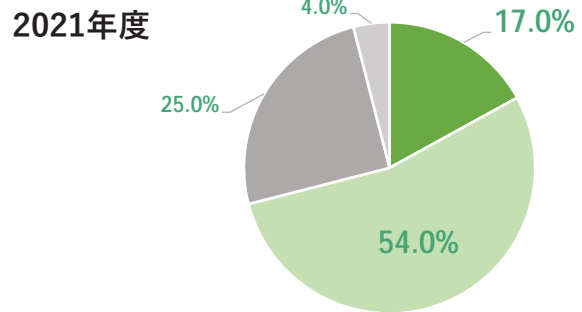
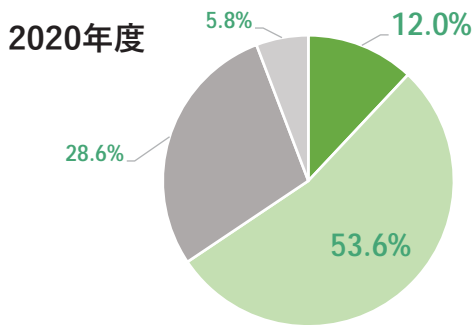
病棟看護師は一般患者からコロナ患者までを広範囲に看護することとなった

○計画助勤による対応力の向上

様々な診療科の患者を看護する経験を積むことで
 度重なる病棟再編成に順応することができるようになった

4 | 看護師の満足度向上

Q. 多摩北部医療センターで働くことにやりがいを感じているか



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

肯定回答 **65.6%** (2020年度)

肯定回答 **71.0%** (2021年度)

理由として



「提供する医療の内容、患者ニーズ対応、患者・家族との関わり、業務改善への取組等にやりがいを感じる」等

今後の展望

1 | 助勤制度の進化をめざす

「計画助勤」に加え突発的なニーズに応える助勤制度も

2 | WLBの更なる推進

看護師長全体の意思統一、職員の意識づけ

導入のポイント

1 | 助勤へ行く看護師への意識付け

○「あなただから頼む」という専門性の発揮と責任感への期待を伝える

2 | スタッフへの目的の共有

○「何のためにこの取り組みを行っているか」目的の理解を深め共通認識をもつ